

『いきなりはじめるPHP』 補足資料(その4.2)

XAMPPのインストールでお困りの Macユーザーの皆さんへ

手元のパソコン上で動くフリーソフトの仮想サーバー「XAMPP」には、いくつものバージョンがあります。『いきなりはじめるPHP』では、あえて少し古いVer. 1.7.4を使います。新しいバージョンですと、初心者には判りにくい画面だったりするからです（中級編の『気づけばプロ並みPHP』では1.8.1を使うようになっています）。

ところが本書の刊行後、「XAMPPの提供サイトが見当たらない」とか「1.7.4が見つからない」、「ダウンロードは出来たけど起動の仕方がわからない」といった声を、主にMacユーザーから聞くようになりました。そこで書籍の補足資料として、Mac版XAMPPのインストール等についてご説明します。

Macの方は、本書P.022（中級編はP.017）に記載されたURLにアクセスしても、最近では[404 not found]のエラー表示となってしまいます。

ですので、Macの方は以下にアクセスしてください。（Windowsの方は本の通りにしてください。）

<http://www.apachefriends.org/jp/download.html>

The screenshot shows the Apache Friends website's download page. The main heading is 'ダウンロード' (Download). Below it, there are two sections: 'Windows 向け XAMPP 1.8.2 & 1.8.3' and 'OS X 向け XAMPP 1.8.2 & 1.8.3'. Each section contains a table with columns for 'バージョン' (Version), 'チェックサム' (Checksum), and 'サイズ' (Size). In the OS X section, the 'ダウンロード' (Download) button for the 1.8.2 / PHP 5.4 version is highlighted with a red dashed circle and a red arrow pointing to it.

バージョン	チェックサム	サイズ
1.8.2 / PHP 5.4	何が含まれているか?	102 Mb
1.8.3 / PHP 5.5	何が含まれているか?	119 Mb

バージョン	チェックサム	サイズ
1.8.2 / PHP 5.4	何が含まれているか?	117 Mb
1.8.3 / PHP 5.5	何が含まれているか?	122 Mb

上のようなページが表示されるので、[OS X 向け XAMPP]を探して下さい。現時点でXAMPPのバージョンは、1.8.2または1.8.3しか選べなくなっていました。推奨できませんが仕方ありません。1.8.2を選んでボタンをクリックすると、自動的にダウンロードが始まります。

ご注意！

なお余談になりますが、ネット検索などを使ってXAMPPの提供サイトを探した場合、先ほどの[~.org/jp/download.html]ではなく、下のURLが表示されるかもしれません。

<http://www.apachefriends.org/jp/index.html>

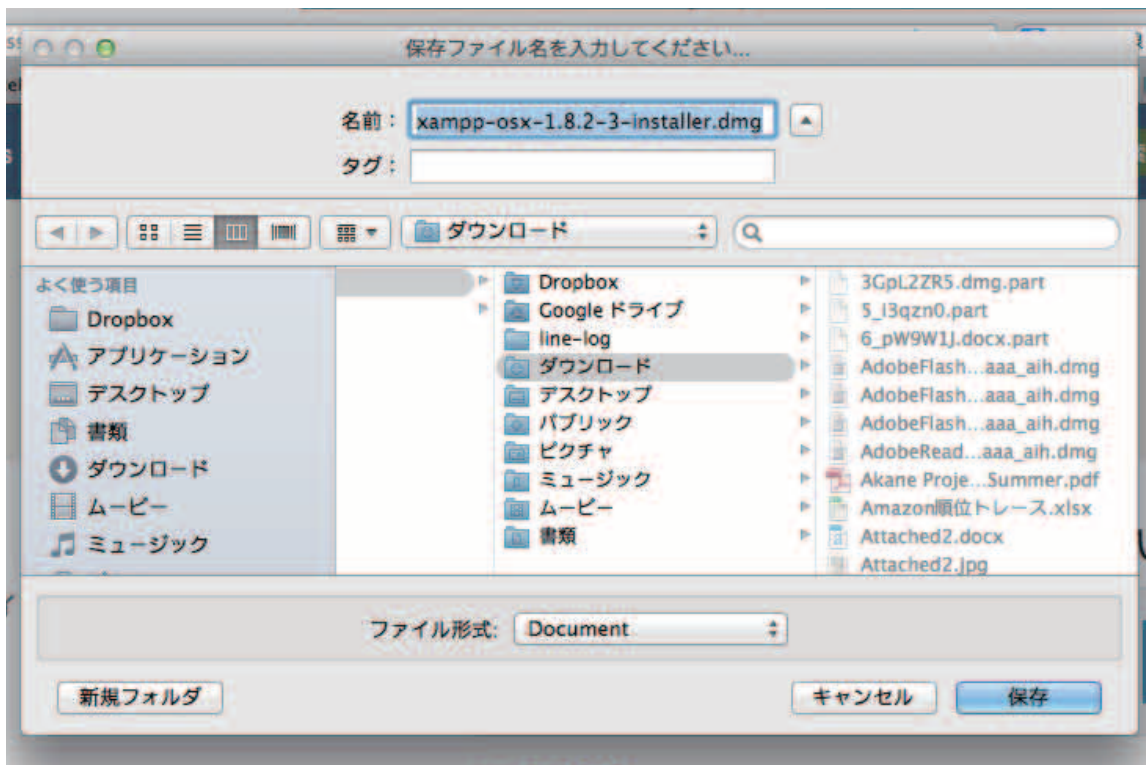
しかしこのページからは、v.1.8.3(現時点の最新バージョン)しか選べませんので、ご注意ください。



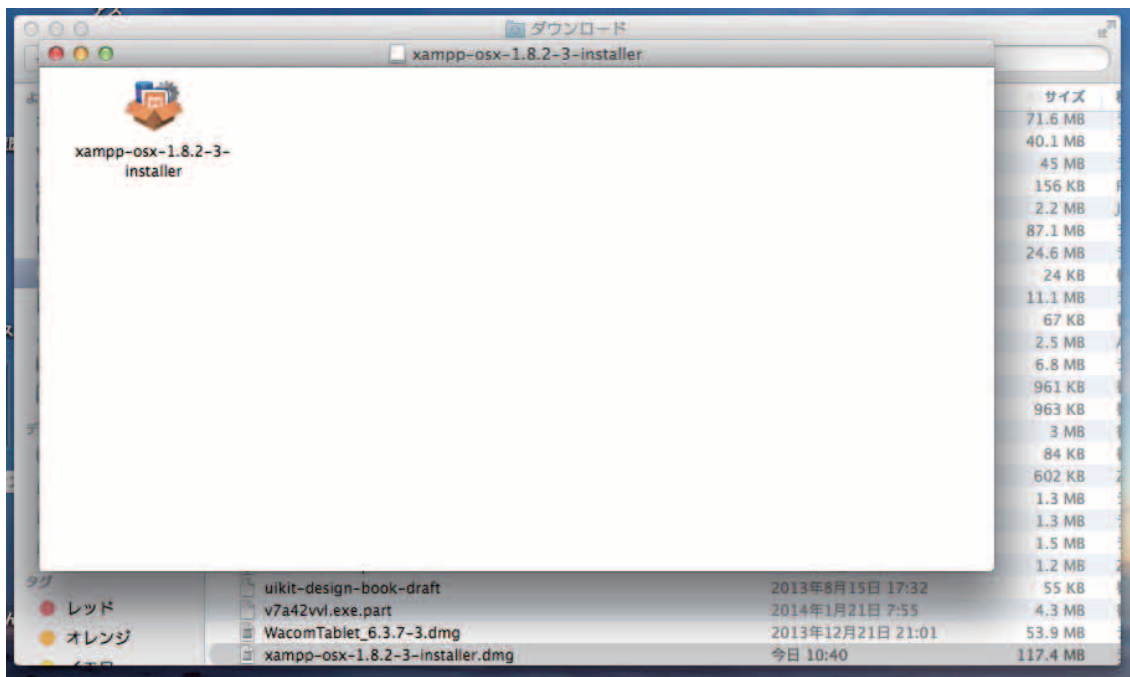
v.1.8.2のダウンロードボタンを押した後、下の表示が出たら[ファイルを保存する]を選び[OK]ボタンを押します。



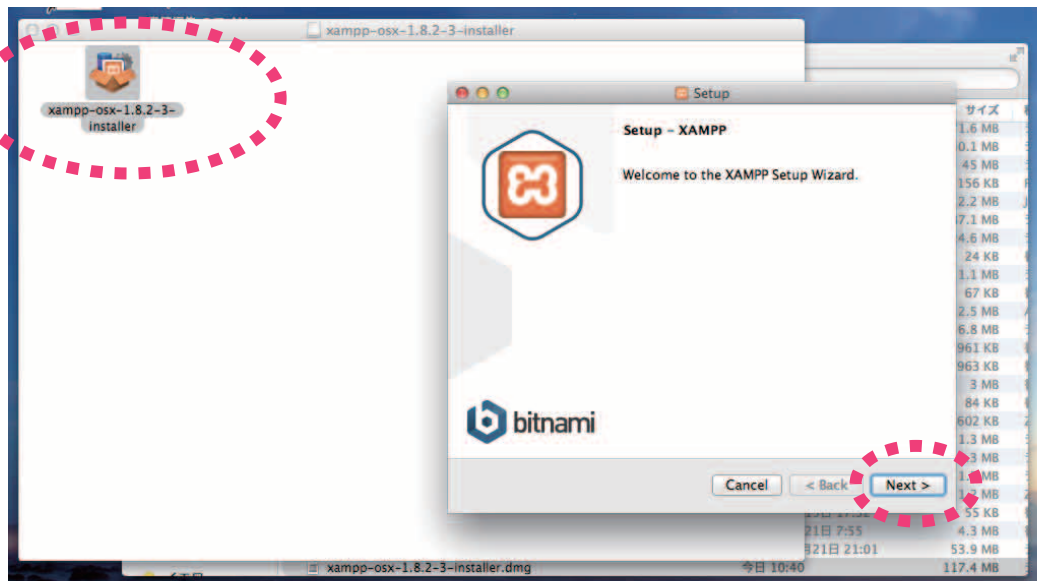
続いて、インストーラ(インストール作業を自動で行うソフト)をあなたのMacのどこに保存するか、指定するための画面が開きます。特に制約がなければ、[ダウンロード]フォルダの中に保存してください。



インストーラのダウンロードが無事完了すると、[xampp-osx-1.8.2-3-installer]のアイコンが作られます。

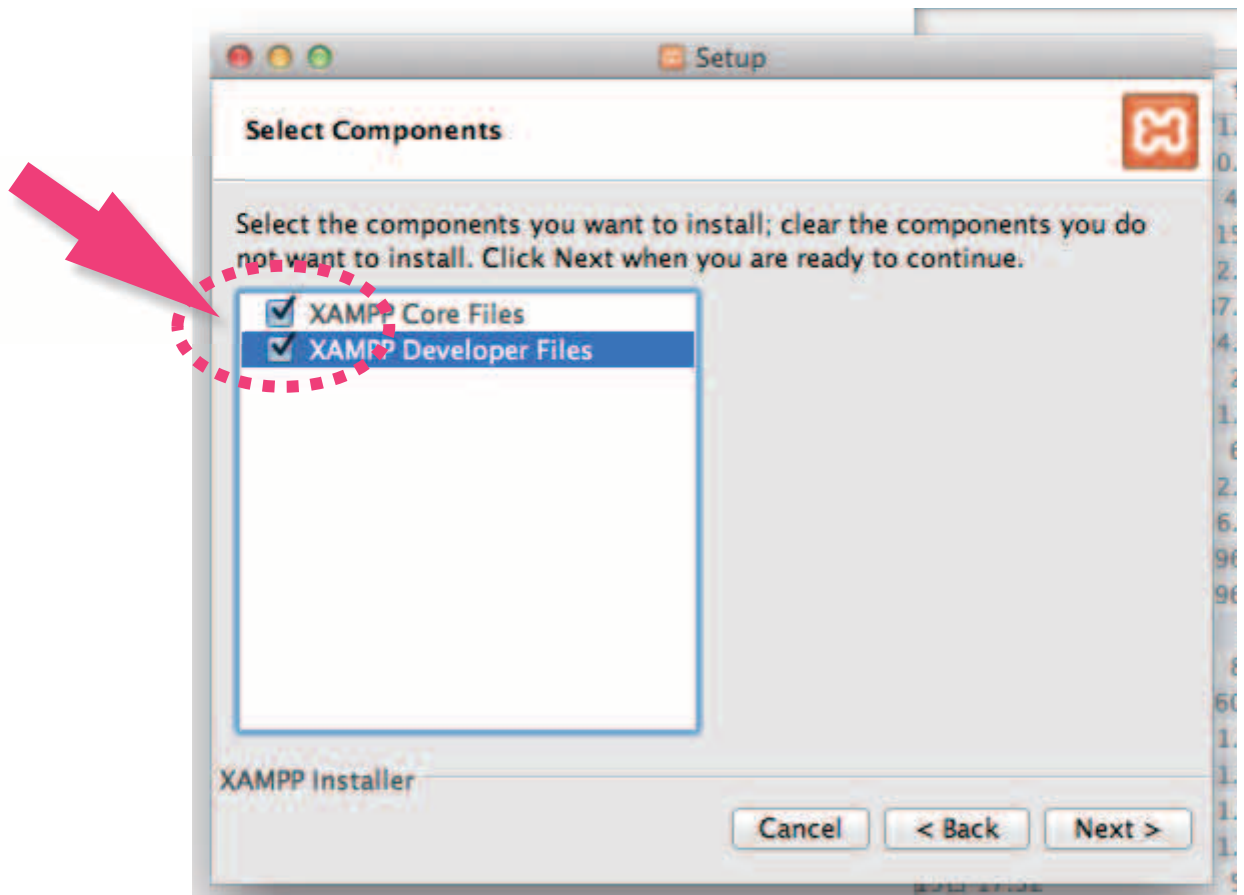


[xampp-osx-1.8.2-3-installer]のアイコンをクリックすると、XAMPPのインストーラーが起動して下のようなセットアップウィザードが開くので、次(Next>)へ進みます。



下のような画面が開いたら、[XAMPP Core Files]にチェックが入っていることを確認してください。2箇所ともチェックが入っていてもOKです。

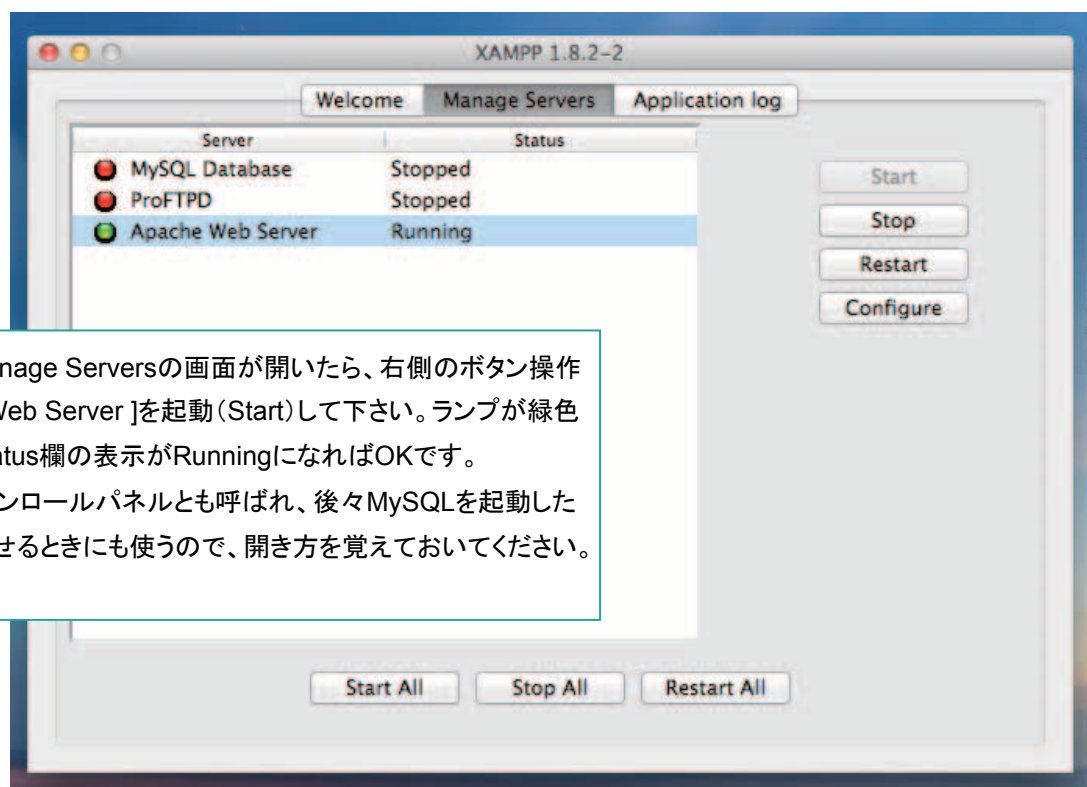
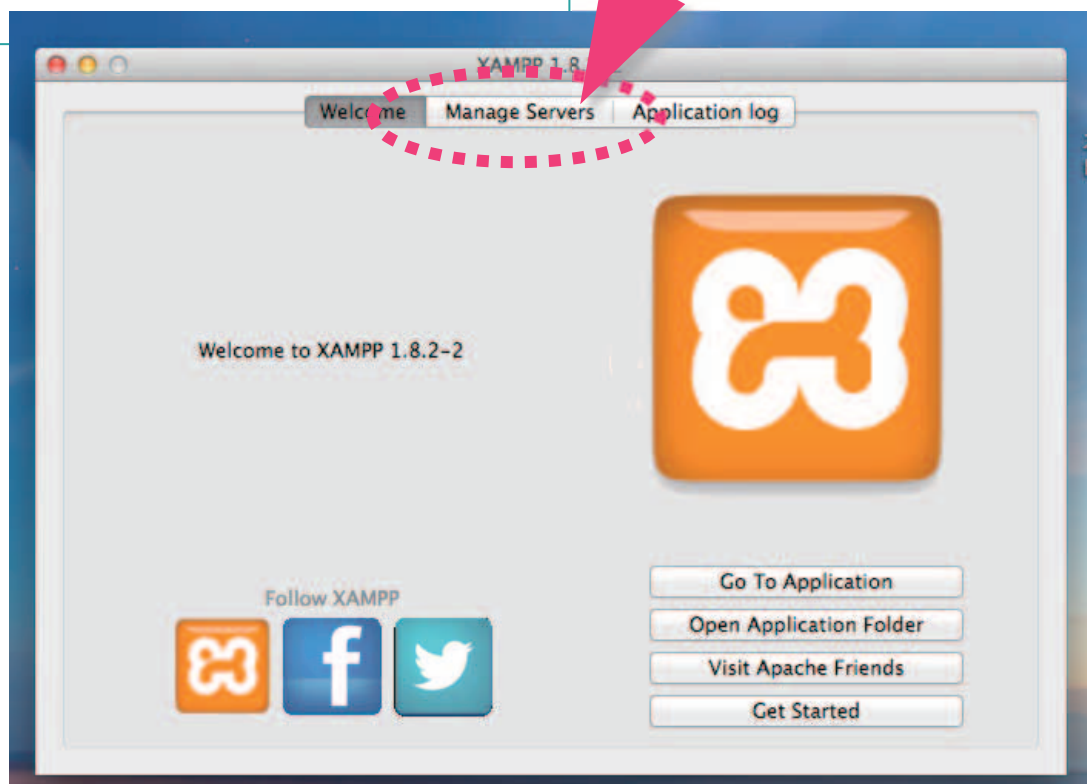
Next>をクリックすると、XAMPP for OS X Ver.1.8.2のインストールが始まります。





確認画面がいろいろ出てきますが、あまり気にせずどんどん先に進んでください。

インストールが完了したらXAMPPを起動しましょう。
最初の画面が開いたら、画面上方・中央のタブ [Manage Servers] を選びます。ここが分からないために、次に進めず困っている方が少なくないようです。



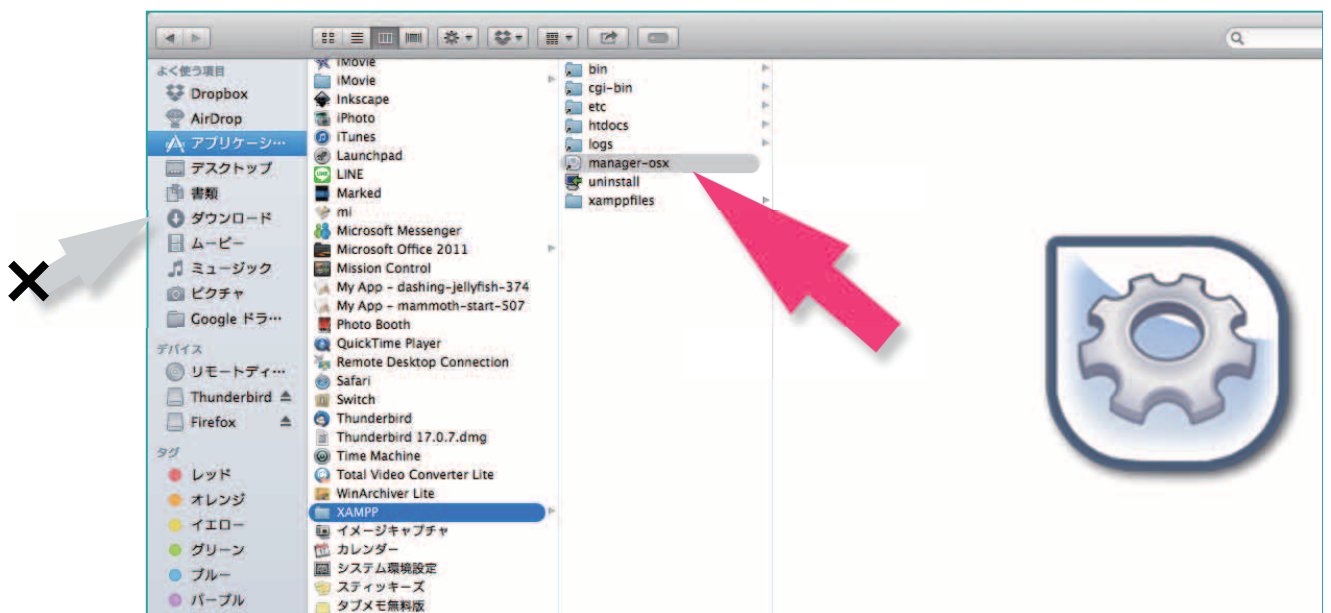
このようなManage Serversの画面が開いたら、右側のボタン操作で [Apache Web Server] を起動 (Start) して下さい。ランプが緑色に変わり、Status欄の表示がRunningになればOKです。
この画面はコントロールパネルとも呼ばれ、後々MySQLを起動したり、ストップさせるときにも使うので、開き方を覚えておいてください。

では最後に、ブラウザを立ち上げてhttp://localhostにアクセスしてみましょう。右のような画面が表示されることを確認して下さい。



●インストールしたXAMPPを起動するには…

以上でセットアップは完了です。あなたのMac上でWebサーバーを使うことができるようになりました。ところが！一旦XAMPPを終了させたり、Macをシャットダウンしてしまうと、「次にXAMPPを起動するとき、どうしたらいいかわからない」という方がいらっしやいます。どうやら、作られているはずのXAMPPの実行アイコンが見つからないようです。そうした方々のために、XAMPPの起動（再起動）方法を説明しておきます。



DocのFinderウィンドウで[アプリケーション]を開くと、[XAMPP]というフォルダが作られています。その中にある[manager-osx]または、右上のようなアイコンをクリックして下さい。先ほど見たManage Serversの画面（コントロールパネル）が開くはずですが。なお、[ダウンロード]フォルダの中にある[XAMPP・・・]というのは、XAMPP本体ではなくインストーラだけですから、もはや用済みです。

名前	manager-osx
種類	エイリアス
サイズ	26 バイト
作成日	2013年11月15日 金曜日 13:37
変更日	2013年11月15日 金曜日 13:37
最後に開いた日	2013年11月15日 金曜日 13:37

別の起動方法もあります。Lounchpad(ローンチパッド)を使ってアイコンを見つける方法です。



DockでLounchpadアイコンをクリックするか、キーボード上のLounchpad キーを押下、またはトラックパッド上で親指と3本指をピンチインすると、上の画面のように、そのMacにインストールされた全てのAppが一覧表示されます。その中から[XAMPP]を見つけ、[manager-osx]をクリックすればMAMPPのコントロールパネルが開きます。



XAMPPのバージョン1.8.2と1.7.4では、所々画面や操作の仕方が違っており、戸惑う場面があるかもしれませんが、基本的にやっていることは同じです。答はきっとみつかると思います。本書に戻り、今度はテキストエディタのmiを手に入れて下さい。